

## 後袈裟丸山山行報告

【山行日】2022年 5月 19日(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木、 SL:大西

大塚、小松原、関、廣瀬、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=郡界尾根登山口

P7:35/8:00~八重樺原 8:30~石祠 9:20/9:30~

後袈裟丸山 10:35/11:20~石祠 12:30~八重樺

原 13:30~郡界尾根登山口 P13:50/14:00=

道の駅「くろほね」14:30/14:50=岩舟支所

P16:05



19日は晴れの予報なので、個人山行で郡界尾根から後袈裟丸山に登る計画を立てた。

急な募集にもかかわらず7名の参加となり、6時に岩舟支所を出発する。国道50号線を西に向かい



みどり市鹿の交差点を右折し、国道122号線を進んで道の駅「くろほね」でトイレを済ませる。さらに122号線を進み小中の信号を左折し、小中川沿いの林道を北上し大滝の先のT字路を左折する。狭い林道をさらに進むと左に鋭角に曲がり、すぐ先に数台止められる駐車スペースがある。すでに満車で、駐車スペースの端に横向きに止める。準備を整えストレッチを行ったら出発し、向かい側の登山口から登山道に入る。丸太の階段の道を登って行き、丸太のハシゴを登

ると間もなく主稜線に出る。郡界の稜線を右に進むと三等三角点があり、この付近は八重樺原と呼ばれササと白樺が美しい。広い笹原の稜線を緩やかに登り、右側が開けて前袈裟丸の山々が大きく見渡せる。しばらく登ると稜線が狭くなり、ヤセた岩稜に石宮が置かれている。



このあたりからアカヤシオやアズマ



シャクナゲの花が見られ、疲れを忘れさせてくれる。ヤセ尾根を登り、高度が上がるにつれ花が多くなり、咲初めのシャクナゲは色が濃くてとても美しい。展望が良い岩場があり、この岩の周辺は花が多く上州の山々の眺望も素晴らしい。



やがて急傾斜の登りが始まり、コメツガなどの樹林帯を登り切ると後袈裟丸山山頂に着く。山頂は



狭いが眺望は良く、前袈裟丸山が新緑でもとも綺麗である。すぐ下にはミネザクラが満開で、アズマシャクナゲの花も色が濃く丁度見頃である。山頂でランチタイムとし、焼きそばを作りおにぎりやいなり寿司をいただく。ミネザクラやシャクナゲを見ながら食べる焼きそばは格別で、皆さん笑顔で美味しそうに食べていた。男性ばかりのグループが登って来て、ビールを飲んで宴会が始まり賑やかになる。我々は後片付けをして場所を空け、下山開始する。下山は往路を戻すが、暖

かい陽射しを受けて花々が開き、登りよりもきれいに見える。花々をスマホに収めながら下り、登りでは気が付かなかった花を觀賞することが出来た。八重樺原手前の広い笹原でワラビを見つけ、笹原に分け入ってワラビを少々摘みながら下る。八重樺原の先から左に支稜線を下り、丸太の階段を下って登山口に着く。靴を履き替えたら車に乗り、往路を戻って岩舟支所に向かう。途中、道の駅「くろほね」に寄り、野菜のお買い物してソフトクリームをいただいた。平日なので道路の混雑も無く順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。

